

## 事業名 一般国道4号<sup>おおつづみ</sup>大堤地下道「スワンロード」事業

単に安全で便利な道路横断施設というだけでなく、意見交換会を通し地域住民と一体となった構造・設備等の検討を取り入れた公共施設事業の推進事業

受賞機関 建設省東北地方建設局岩手工事事務所

事業実施期間 平成9年12月～平成11年3月

事業費 350百万円

### 技術等の特徴と評価

地域住民との意見交換会を実施する等地域参加型事業として事業実施することにより、子供・高齢者・身障者にやさしい施設づくりが可能となったこと、さらに事業に対する理解の向上から事業進捗の円滑化を図ったこと、また愛着あるマイロードとして地元住民による維持管理を実施していることが評価できる。

### 事業の概要と効果

北上市は、北上平野のほぼ中央に位置し、国道4号・東北新幹線・東北縦貫自動車道の南北幹線と国道107号・JR北上線・東北横断自動車道の東西幹線が交差し、太平洋と日本海を結ぶルートの結節点として県内でも屈指の多交通地域である。

当大堤交差点は、西側に小学校・中学校・高校・工業団地、東側に住宅団地があり、生徒の多くは国道を横断して通学している。また、平成11年に開催されるインターハイの主会場である北上総合運動公園と隣接し、主要経路となることから、4車線拡幅にあわせ、国道横断の歩行者の安全確保と、快適な歩行空間の確保を目的としている。

地下横断歩道の設計にあたって、「美しい国土づくりアドバイザー制度」を活用し、①明るく安心利用できる施設、②利便性と活発性のある構造、③永く親しまれるデザインを基本コンセプトとして、設計を行った。

施設の整備にあたっては、地域の方々に末永く親しんで利用して貰うため、本事業の情報公開を行い、学校・身障者団体・防犯・交通安全団体等地域住民の方々とともに構造設備等の検討を行うべく、「意見交換会」を開催し事業に反映した。

効果として、地下横断歩道は一般的に、暗い、狭い、

怖いといった観念があり、小学生等の子供をもつ親から不安の声が強かったが、屋根を全面ガラス張り、採光スリット設置、非常用ボタンの警察へ接続等の対策により解消できた。

また、施工にあたり、地域の方々との「意見交換会」を設けたことにより、事業が理解され円滑に進んだことはもちろん維持管理のコスト面では、清掃、植栽管理(植え替え、剪定等)を地元が自主的に行う等の意見を貰い、維持管理費用が軽減され、地元住民の施設に対する愛着が生まれ、マイロードとして永く良好に維持されることが期待される。



大堤地下道意見交換会状況



大堤地下道採光スリット



大堤地下道横断面